

みどりの風



おちゃのたね

- ・おおらかに
- ・チャレンジ
- ・のびのび
- ・ただしすがた・たすけ合う
- ・ネバーギブアップ



令和6年3月1日 校長 池田 誉

豊かなつながいを

2月2日（金）に5・6年生が、勝山小6年生、月田小5・6年生、美甘小5・6年生とオンライン交流学習を行いました。以前は勝山中学校の入学説明会の際に6年生同士がゲームを通じて交流を行っていましたが、今年度はオンラインでの開催となりました。

各校が地域について学んだことを中心に発表し、お互いに聴き合う形で交流しました。富原小の5・6年生も、富原のお茶の魅力や歴史について、他校の友達にわかりやすく伝えようと、写真を見せたり話し方を工夫したりして上手に発表しました。また、他校の発表を真剣に聴き、それぞれの地区の特色に強い関心を持った様子でした。



2月5日（月）には1・2年生が中和小学校に出かけ、中和小と櫻邑小の1・2年生と交流会をしました。オンラインでは毎週1回交流を続けていましたが、実際に会うのは初めてでした。最初はやや緊張気味でしたが、名刺交換や中和小学校の見学、体育館での遊びなどを通して楽しく過ごすことができました。



今年度は各学年で他の小学校と交流する機会が増えました。3・4年生も3月に勝山小学校3年生との交流会を行う予定です。各学校の個性も大切にしながら、早い段階から他の学校の友達とつながることで、いろいろな人と接する力を高め、中学校生活のスムーズなスタートにも役立つと考えています。令和6年度には、さらに交流の機会を増やし、より豊かなつながりを作っていきたいと思えます。

1年間の成長と感謝を地域の方に

2月9日（金）に、地域学習でお世話になった方や学校支援ボランティアの方をお招きして、「ありがとうの会」を行いました。合わせて11名の方が参加してくださいました。

各学級で作業を分担し、児童が中心となって準備を進めました。3・4年生が考えた「絵しりとり」と「牛乳のふた運び」のゲームでは、大人と子どもと一緒に作業して楽しめるよう工夫されていて、和やかな雰囲気になりました。

5・6年生は、この日のために富原のお茶を使ったお菓子作りに挑戦しました。試作を繰り返して完成したクッキーは大好評でした。おいしいお菓子とお茶をいただきながら、小さいころ好きだった遊びや給食の献立などの話題で盛り上がりました。

そのあと、全校合唱「あなたにありがとう」を聴いていただき、1・2年生が作った折り紙の花束のプレゼントを渡しました。

来てくださったお客様も、とても喜んでくださっていましたが、何よりも子ども達のリラックスした笑顔が印象的でした。地域の方々と接する機会を繰り返すことによって安心し、コミュニケーション力も向上していることを実感しました。

続けて行われた「第2回地域学校協働本部（学校支援ボランティア）総会」でも、子どもたちの成長ぶりについて、おほめの言葉をたくさんいただきました。

また今年度は、参加してくださった方で「富原っ子にどんな力をつけてほしいか」「そのためにできることは何か」について協議していただきました。熱心に話し合う中で、富原っ子のさらなる成長につながるたくさんのアイデアを出してくださいました。

今年度もいろいろな場面で地域の方々とふれあう機会をたくさんもつことができました。関わってくださる大人の思いを子どもたちも感じ取り、富原のよさについて考えを深めたり、感謝の気持ちをもったりすることができました。これからも、地域の方々とともに富原の子どもを育てていくために努力していきたいと思っております。今年度お世話になった皆様に改めて感謝申し上げます。



届け！わたしたちのメッセージ

富原小学校の児童が、能登半島地震被災者の方への応援メッセージを作成しました。児童1人1人が言葉を選びながら、ていねいに書いたカードを1つにまとめました。全国へき地教育研究連盟からの依頼で作成した今回のメッセージは、全へき連のホームページ（「全へき連」で検索）で見ることができます。

